

土壌分析センター概要

- 所在地 青森市大字丸山393番地2
- 面積 40m²
- 事業開始 平成21年4月
- 分析項目

分析種別	一般分析		多量要素分析		項目の意味			
	分析項目数	18項目	17項目	12項目		11項目		
品目	水	稲	園	芸	水	稲	園	芸
pH	○	○	○	○	土壌が酸性かアルカリ性かを見ます。			
EC	○	○	○	○	土壌に肥料が残っているかの指標となります。			
石灰	○	○	○	○	作物体を丈夫にし、健全な体をつくる基となる。			
苦土	○	○	○	○	葉緑素を形成し、光合成に必要不可欠となる。			
カリ	○	○	○	○	「実肥え」ぜいたく吸収する特性があり、石灰・苦土の吸収を阻害する。			
硝酸態窒素	○	○	○	○	作物のほとんどがこの窒素形態で根から吸収する。			
アンモニア態窒素	○	○	○	○	微生物の働きによって硝酸態窒素に分解される。			
りん酸	○	○	○	○	「根張り」「開花・結実」に関与。土壌に吸着されやすく、過剰障害がでにくい。			
りん酸吸収係数	○	○	○	○	値が高いほど、りん酸が土壌に吸着されやすく、作物に吸われにくい。			
腐植	○	○	○	○	土壌に含まれる有機物の量を示す。			
CEC	○	○	○	○	土が肥料を捕まえておく力(保肥力)を表します。高いと肥料を捕まえておく。			
ケイ酸	○		○		稲にとって必要不可欠。いもち病や倒伏防止、受光体勢の改善。			
ホウ素	○	○			細胞壁の構造を安定化させる。			
鉄	○	○			光合成における酵素、葉緑素の形成に役割を果たす。			
マンガン	○	○			光合成に関与			
銅	○	○			タンパク質構造維持に必要。高pH、りん酸過剰により亜鉛を吸収しにくい。			
亜鉛	○	○			光合成の捕捉			
モリブデン	○	○			硝酸から亜硝酸への還元酵素			